

脱炭素コミュニケーター養成研修会を開催しました。



研修会の様子 (2025年11月6日)

一般社団法人日本自動車販売協会連合会大阪府支部様、大阪府様と共催で自動車販売に携わる方を対象に、気候変動対策と自動車の関係について正しい知識を学んでいただく研修会を開催しました。

研修を修了された方を「脱炭素コミュニケーター」に認定し、消費者へ説明いただくことで環境に優しい次世代自動車の普及が進むことを期待しています。

永和信用金庫様から寄附金をいただきました。



感謝状贈呈式の様子 (2025年11月28日)

永和信用金庫 (加藤 聡 理事長 大阪市浪速区) 様から、個人向け定期積金「えいわエコ定期積金」(2025.8.1～9.30) の契約高の一部を大阪府地球温暖化防止活動推進センターにご寄附いただきました。寄附金は、えこっとOSAKAの発行費用やセンターの活動費用の一部に充当します。永和信用金庫様をはじめ、「エコ定期積金」にお申し込みいただいた皆様に深く感謝いたします。

SNSで
おおさかばんカーボンフットプリント
“大阪版CFP”が
わかる!

動画
配信中!



YouTube



Instagram



X



2026年1月～3月 大阪府民の森 ちはや園地 イベント情報

イベント担当／ちはや星と自然のミュージアム
TEL:0721-74-0056

ガイドウォーク

自然をこよなく愛するネイチャーガイドと一緒にちはや園地の動植物を観察する楽しい1時間のミニツアーです。



【期間】毎月第1・3日曜日 (1/4、2/1は中止)
【時間】午前の部 11:00 ～ 12:00
午後の部 13:00 ～ 14:00
【集合】ちはや星と自然のミュージアム 【料金】100円
【服装】動きやすく、汚れてもよい服装
【申込】不要

野鳥観察会

標高1000mのちはや園地は野鳥の楽園。スタッフと一緒に探鳥を楽しむ4時間のツアーです。



【期間】毎月第4日曜日 【時間】10:00 ～ 14:00
【集合】ちはや星と自然のミュージアム
【料金】100円
【持ち物】お弁当、双眼鏡 (貸出可)
【申込】不要
※中止の場合は前日19時までにちはや園地ブログにてお知らせします

太陽観察会

大阪府で一番空に近い天文施設で太陽黒点を見てみよう! 運が良ければプロミネンスも?!



【期間】晴れの土・日・祝日
【時間】11:00 ～ 14:30 (途中望遠鏡調節のため休止時間あり)
【集合】ちはや星と自然のミュージアム星見台
【料金】無料 【申込】不要
※雪で星見台のルーフが開かない時期は中止します。

ウキウキ実験教室 静電気で遊ぼう!



聞いているだけではつまらない! 実際に色んな実験を通して、科学を楽しむ体験型講座。

【日時】3月20日 (金・祝)
【時間】午前の部 10:00 ～ 11:00
午後の部 13:00 ～ 14:00
【集合】ちはや星と自然のミュージアム
【料金】500円
【申込】大阪府民の森HPより申し込む。
または、ちはや星と自然のミュージアムまで



マスコット
キャラクター
「えこたま」



みどり公社HPIに
アクセス!



「えこっと」は地球環境を守るために、私たちの暮らしをちょこっと (少し) だけ、えーこと (良いこと: やさしい)、エコロジカルにしようと、大阪言葉を交えた意味を込めています。

編集・発行／大阪府地球温暖化防止活動推進センター
〒541-0054 大阪市中央区南本町2-1-8 一般財団法人大阪府みどり公社
TEL.06-6266-1271 FAX.06-6266-8665 <http://osaka-midori.jp/>
編集協力・印刷／株式会社ウイルハーツ
〒564-0053 大阪府吹田市市江の本町17-1 コンバーノビル 2F
TEL.06-6378-9500 FAX.06-6378-9550 <http://www.w-hearts.jp/>



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

特別企画 大阪・関西万博レポート(拡大版)

大阪・関西万博の大阪ヘルスケアパビリオン (以下「大阪館」) では、地球をイメージした透明な球体のアクアポニックス※「いのちの湧水(いずみ)」が展示されていました。

今回は「いのちの湧水」の設計に協力された、三進金属工業株式会社様にお話を伺いました!

※水耕栽培と陸上養殖を組み合わせた循環型の生産システム。3面に解説コーナーあり。



インタビュー本編

御社について簡単にご紹介いただけますか。

弊社は大阪府泉北郡忠岡町に本社をおく、創業60年の会社です。産業用の保管棚を製造販売しています。

大阪・関西万博会場に設置されたアクアポニックスの設計にも協力されたそうですね。



展示中のエディブルフラワー

夢洲の地盤は非常に弱いので、沈下を防ぐ基礎工法である『浮き基礎』工法を採用しました。また、展示物・水耕設備を支える6本の支柱と円盤棚には、垂直・水平を保つために日頃の施工技術が活かされました。

鉄骨等の塗装には、揮発物質が植物や魚に影響を与えないように配慮した水性塗料を使用。そして、2・3・4層目の水耕栽培システムにはグループ会社の株式会社エム式水耕研究所の技術を導入しています。4層目のエディブルフラワー展示で

は、ガラスドーム内の温度変化や花の生育状況を日々管理しています。

基礎工事から運営まで、幅広く手掛けられているんですね! 設計に携われる中で、特に苦労されたことはありましたか。



工事の様子

実はアクアポニックス建

設に予算が付いたのは大阪館の建設工事がかなり進んでからのことでした。アクアポニックスには基礎内部に給水、排水、電気、通信を通す工事が必要ですが、当初は大阪館の外構工事の後にアクアポニックス工事を始めるという、非常にタイトな計画になっていました。

それは大変ですね…。

幸い、大阪館の施工会社に直接当方の工事内容を伝え、ご理解いただいたことで直ぐに基礎工事に着手できました。工事に関わる施工会社各社の経験者が集まり知恵を出し合った結果、工事は順調に進み、仕上げもきれいに完成しました。

施工会社の連携プレーで完成に導かれたのですね。

ところで、生育された農水産物はどのように活用されるのでしょうか。

魚のチョウザメ、植物のトマト等は、大阪館内の『学び』のデモキッチン等へ提供されています。

植物等の残渣でアメリカミズアブを飼育し、それを魚の餌に加工しています。アクアポニックス展示の中で連鎖しています。

万博で実際に循環利用が実現され、持続可能な食料生産方法の一つとしてますます注目されそうですね。

今回は貴重なお話をありがとうございました。

*インタビューの内容は、令和7年10月3日時点のものです

えこっと OSAKA にご意見をお寄せください。

ご意見はこちらから <https://goo.gl/aZVbQn>

ご家庭や会社で取組んでいるエコ活動や、身近で地球温暖化防止に役立っている商品、設備、施設等ありましたら教えてください。その他、本紙の感想や取り上げてほしい特集なども、右のQRコード、または上記のアンケートフォームよりお寄せください。みなさんのご意見・ご感想お待ちしております!



えこっと OSAKA を
購読しませんか?



継続して購読されたい方は、1期 (年3回発行) 送付分の切手、110円3枚を添えて、郵便番号、住所、氏名、電話番号、何号分から送付をご希望かを記入のうえ、大阪府地球温暖化防止活動推進センターまで郵送にてお送りください。

●あて先 〒541-0054 大阪市中央区南本町2-1-8 大阪府地球温暖化防止活動推進センター
お近くの市町村(環境担当部署)、消費生活センター、図書館、府民情報プラザなどでも配布しております。

えこっと OSAKA は、
カーボンオフセット付の環境に
やさしい情報紙です

本紙は1部あたり10.2gのCO₂ (ライフサイクル) を排出しますが、これを大阪府域において実施された森林吸収(間伐促進型プロジェクト)で創出されたクレジットでオフセットしています。

株式会社ココウェル代表取締役社長 水井 裕氏
令和7年度第二回大阪府地球温暖化防止活動推進員研修会レポート開発途上国の貧困問題と環境問題
～SDGsの視点での企業活動～

ココナッツが原料の商品の製造販売をフェアトレードで行っている「COCOWELL」の水井社長にお話を伺いました。

■私の原体験

私が環境問題に興味を持ったのは、学生の頃に読んだレイチェル・カーソンの「Sense of Wonder」という本に出会ったことがきっかけなんです。自然の美しさや雄大さに畏敬の念を持つと同時に、地球規模の環境問題を知ったことで将来に危機感を抱くようになりました。そのころ、京都でCOP3が開催され、授業で模擬COP3を実施するという経験をしました。学生一人一人にアメリカ大統領や日本の総理大臣などの役割が与えられ、ディベートをしながら温室効果ガスの排出削減量を決める、という内容で、私の役割はフィリピンの大統領でした。その後、フィリピンについて調べるうちに、開発途上国の環境問題に関心を持つようになり、大学卒業後、さらに環境問題について学ぶために専門学校に入学しました。

■フィリピンでの体験

その後、現地の環境問題を学ぶためにフィリピンの大学に短期留学をしました。当時、フィリピンではごみを焼却する設備が無く、ごみ問題が深刻でした。家庭から出るごみは同じ場所に集まるため巨大なごみ山ができ、それらが自然発火して煙が出ていたため、そのごみ山は「スモーキーマウンテン」と呼ばれていました。

刺激臭が立ち上るごみ山で、多くの子どもや大人が何かを探している光景を目にしました。その状況に衝撃を受け、彼らにインタビューをしたところ、ほとんどが農村出身の人たち

だったんです。夢を持ち、仕事を探すため都会に来ていたのですが、農村の人は正規の教育を受けていないことが多く、仕事が見つからない。仮に見つかったとしても 3 か月の試用期間が終わると契約を切れ、その結果、農村に帰ることができなくなる。そのような人たちが、ごみに含まれる鉄くずやプラスチックなどを集めて換金したり、残飯を食べたりして最低限の生活をしていました。

■ココナッツとの出会い

ある時、なぜフィリピンの農村では仕事がないのかと私は疑問に思い、現地に足を運んだところ、どこに行ってもココナッツが山のようには生えているのを目にしました。こんなにココナッツがたくさんあって、なぜ貧困から抜け出せないままなのかを調べてみると、仲買人が売り上げの多くを搾取していて、その結果、農家さんの手元にお金が残らない状況になっていることを知ったんです。また、農家さんはココナッツを色々な商品に加工できる事を知りませんでした。例えば、ココナッツオイルやココナッツミルクなど…それらを農家さんが自分で作ることができると、彼らの収入は上がります。つまり、現地の人に加工品を作ってもらい、それを日本で販売すれば、彼らの暮らしが豊かになると考え、2004年にココナッツを原料とした商品を扱うココウェルという会社を立ち上げました。

■ココナッツと地球環境問題

植物は基本的に塩を嫌います。温暖化の影響で海水面が上昇して満潮時に生活域が浸水するという話を耳にしますが、そのような地域では塩害で農作物が育ちにくくなってしまします。しかし、ココナッツはそういう場所でも元気に育ちます。フィリピンでも海水面の上昇が確認されていますが、ココナッツは温暖化に適応できる植物という意味でも優れています。また、農地では微生物の働きによって、二酸化炭素よりも温室効果が高い一酸化二窒素が出ていると言われていますが、ココナッツの繊維を農地に混ぜて窒素分を抑えることで、温室効果ガスの排出を減らせるという研究が進められています。

アグロフォレストリー（農業と林業を組み合わせた言葉）と言って、森を守りながらその中で作物を育てる・農業をしていくという考え方があります。日常で私たちが食べているバナナやお米などは、モノカルチャーといって一品種が農地で育てられます。この農法は効率的ではありますが、栄養素が偏り土地が痩せ、その結果、収穫率が下がります。しかし、ココナッツは樹高が高いので、間にカカオやバナナなど色々な作物と一緒に植えられます。こうすることにより土地が豊かになります。様々な葉っぱが落ちて多様な栄養素が土壌に蓄えられ、持続可能なアグロフォレストリーが実現できます。このようにココナッツは環境に優しい植物なのです。

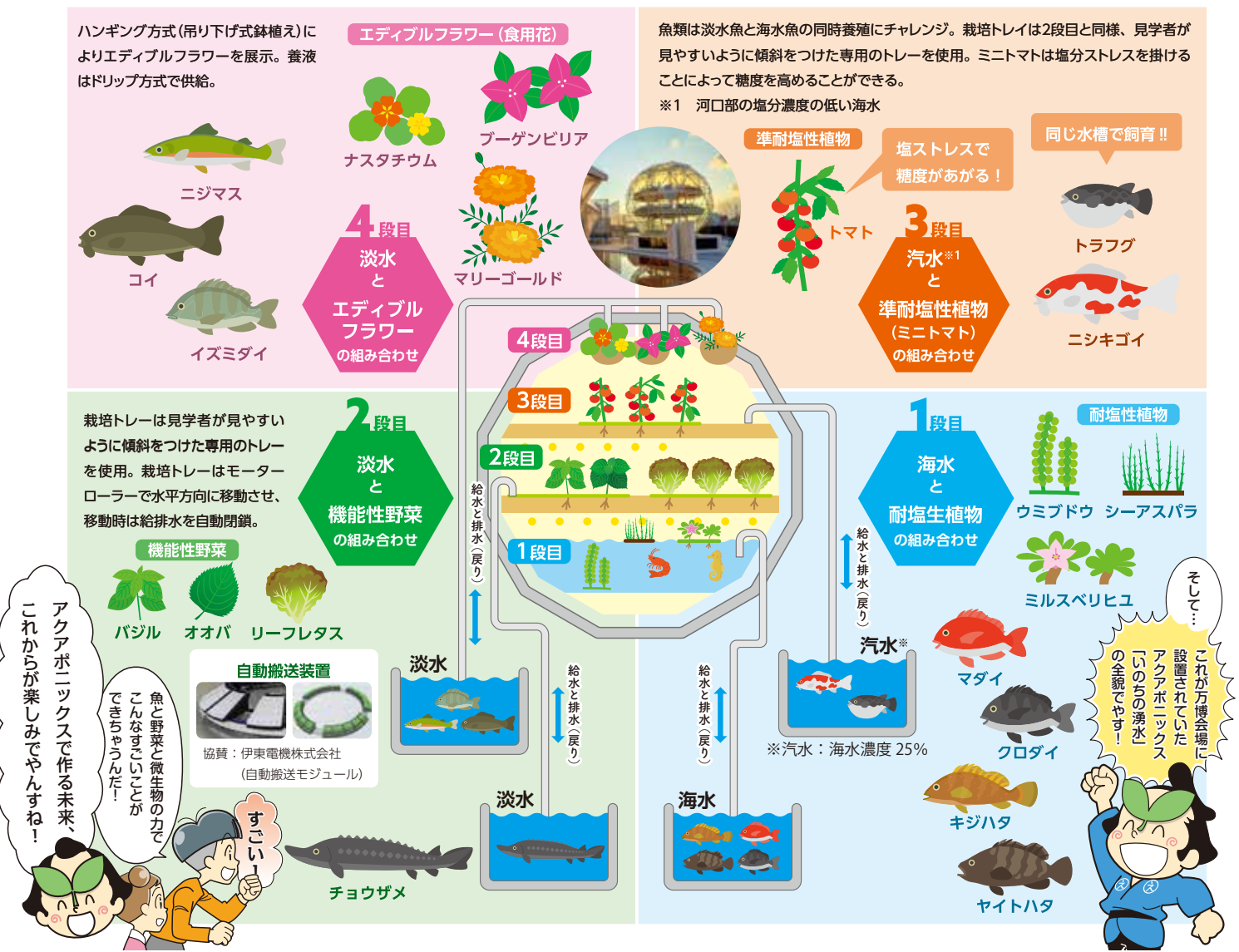
■企業として

ココウェルの創業のきっかけが、開発途上国の貧困問題と環境問題であることから、SDGsの1番目の目標である「貧困をなくす」に強く意識を置いています。次に2番目の目標の「飢餓をゼロに」、そして3番目の目標の「すべての人に健康と福祉を」です。

また、ココウェルは大阪で廃棄される野菜などを原料にして、ココナッツオイルで揚げた野菜チップスを販売しています。食品ロスの削減は廃棄物の減少になり、ごみの焼却に必要なエネルギーの削減になるため、12番目の目標の「地球温暖化に具体的な対策を」にも貢献できるのではないかと考えています。

一人一人が少しでも環境に配慮した商品を選択することが、持続可能な社会を創り上げることにつながります。それらの選択肢に並ぶ商品を今後も現地の方たちと協力して作り、みなさまにお届けしたいと思っています。

私たちが日々の生活の中で選択する商品や行動が将来の地球環境に大きな影響を与えるからこそ自社の商品を通して持続可能な社会の創造に貢献していきたいといった強い思いが伝わるご講演でした。



■会場の様子
ココナッツの多様な機能について説明する水井氏

